



15
部ノ内
2
號

○ 對米英蘭蔣戰爭終末促進ニ關スル腹案



昭和十六年六月二十五日
逓信會議決定

114

0457

方針

- 一、速ニ極東ニ於ケル米英蘭ノ根據ヲ覆滅シテ自存自衛ヲ確立スルト共ニ更ニ積極的措置ニ依リ露政權ノ屈伏ヲ促進シ獨伊ト提携シテ先ツ英ノ屈伏ヲ圖リ米ノ繼戰意志ヲ喪失セシムルニ勉ム
- 二、極力戰爭相手ノ擴大ヲ防止シ第三國ノ利導ニ勉ム

要領

- 一、帝國ハ迅速ナル武力戰ヲ遂行シ東亞及西南太平洋ニ於ケル米英蘭ノ根據ヲ覆滅シ戰略上優位ノ態勢ヲ確立スルト共ニ重要資源地域竝ニ要交通線ヲ確保シテ長期自給自足ノ態勢ヲ整フ
- 凡有手段ヲ盡シテ適時米海軍主力ヲ誘致シ之ヲ覆滅スルニ勉ム
- 二、日獨伊三國協力シテ先ツ英ノ屈伏ヲ圖ル

(一) 帝國ハ左ノ諸方策ヲ執ル

(1) 遠洲印度ニ對シ侵略及通商破壊等ノ手段ニ依リ英本國トノ連鎖ヲ遮斷シ其ノ離反ヲ策ス

(2) 「ビルマ」ノ獨立ヲ促進シ其ノ成果ヲ利導シテ印度ノ獨立ヲ刺戟ス

(二) 獨伊ヲシテ左ノ諸方策ヲ執ラシムルニ勉ム

(1) 近東、北阿、「スエズ」作戦ヲ實施スルト共ニ印度ニ對シ施策ヲ行フ

(2) 對英封鎖ヲ強化ス

(3) 情勢之ヲ許スニ至ラハ英本土上陸作戦ヲ實施ス

(三) 三國ハ協力シテ左ノ諸方策ヲ執ル

0459

(1) 印度洋ヲ通スル三國間ノ連絡機關ニ勉ム

(2) 海上作戦ヲ強化ス

(3) 占領地資源ノ對英流出ヲ禁絶ス

三日獨伊ハ協力シ對英措置ト並行シテ米ノ戰意ヲ喪失セシムルニ勉ム

(一) 帝國ハ左ノ諸方策ヲ執ル

(1) 比島ノ取扱ハ差シ當リ現政權ヲ存續セシムルコトトシ戰爭終末

促進ニ資スル如ク考慮ス

(2) 對米通商破綻ヲ徹底ス

(3) 支那及南洋資源ノ對米流出ヲ禁絶ス

(4) 對米宣傳謀略ヲ強化ス

其ノ重點ヲ米海軍主力ノ極東ヘノ誘致並米極東政策ノ反響ト日

米戰無意義指摘ニ置キ米國與敵ノ厭戰誘致ニ導ク

(例) 米海關係ノ離隔ヲ圖ル

(二) 伊ソシテ左ノ諸方策ヲ執ラシムルニ勉ム

(1) 大西洋及印度洋方面ニ於ケル對米海上攻勢ヲ強化ス

(2) 中南米ニ對スル軍事、經濟、政治的攻勢ヲ強化ス

獨支那ニ對シテハ對米英蘭戰爭時ニ對シテ作戦ノ成果ヲ活用シテ援艦ノ

禁絶、抗戰力ノ減殺ヲ圖リ在支租界ノ把持、南洋華僑ノ利導、作戦

ノ強化等攻戰時ノ手段ヲ積極化シ以テ重慶政權ノ屈伏ヲ促進ス

三 帝國ハ南方ニ對スル作戦間極力對「ソ」戰争ノ惹起ヲ防止スルニ勉

ム

獨「ソ」兩國ノ惹起ニ依リテハ兩國ヲ媾和セシメ「ソ」ヲ樞軸側ニ

引キ入レ他方日蘇關係ヲ調整シツツ場合ニ依リテハ「ソ」聯ノ印度
「イラン」方面進出ヲ助長スルコトヲ考慮ス

六 佛印ニ對シテハ現施策ヲ續行シ

泰ニ對シテハ對英失地恢復ヲ以テ帝國ノ施策ニ協調スル如ク誘導ス
セ常時戰局ノ推移、國際情勢、敵國民心ノ動向等ニ對シ密ニ監視
考察ヲ加ヘツツ戰爭終結ノ爲左記ノ如キ機會ヲ捕捉スルニ勉ム

(1) 南方ニ對スル作戰ノ主要敗落

(2) 支那ニ對スル作戰ノ主要敗落特ニ軍政權ノ屈伏

(3) 歐洲戰局ノ情勢變化ノ好機特ニ英本土ノ没落、獨「ソ」聯ノ終末
對印度施策ノ成功

之ヲ爲速ニ南米諸國、瑞典、葡國、法王聯ニ對スル外交並宣傳ノ施

策ヲ強化ス

日獨伊三國ハ單獨不講和ヲ取極ムルト共ニ英ノ屈伏ニ際シ之ト直ニ
講和スルコトナク英ヲシテ米ヲ誘導セシムル如ク策スルニ勉ム
對米和平促進ノ方策トシテ南洋方面ニ於ケル錫、糖、穀ノ供給及比島
ノ取扱ニ關シ考慮ス

0463